

No. 1268

天皇誕生日

昭和53年4月29日、天皇陛下は満77歳の誕生日を迎えられました。この日、皇居では例年どおり一般参賀が行なわれました。東京地方は雨雲が深くたれこめはだ寒かったためか出足は良くなかったもののそれでも午前中だけで28400人が参賀しました。満77歳、喜寿を迎えられた天皇陛下は皇后さま、皇太子、常陸宮ご夫妻とご一諸に、宮殿「長和殿」のペランダにお立ちになり、参賀の人たちに手を振って応えられました。今年は外国からの国賓ラッシュでお忙しい毎日をお過しですがカゼひとつひかれず、ますますお元気。天皇在位中に喜寿を迎えられるのは第33代、推古天皇以降始めて、喜寿を迎えられたことについては特別な感想はないご様子だが、70年余を振り返ってみると、さまざまの思い出があったと語られています。

私はおんな訓練士

東京、板橋区にある警視庁警察犬訓練所。ここでは14頭の警察犬が毎日、訓練を重ねながら出動に備えています。昨年この訓練所に2人の婦警さんが入りました。女性としては、はじめての訓練士です。最初に入った森田律子さん(25才)は8年前四国から上京。婦警さんとなって交通整理などの仕事に勤務してきましたが、もともと動物好きの性格も手伝ってこの道に入りました。警察犬の訓練は自分との闘いであるといいます。同じことを何回も繰り返し訓練しなければならず、毎日が忍耐の連続です。それでもここにきて一年余り、やっと犬を自分の思うとおりに動かせるようになりました。警察犬が犯罪現場に出動し活躍できるまでおよそ2年かかるといいます。森田さんは「初出動の時、現場と訓練と勝手が違い緊張しました。犯人逮捕ができた時が一番うれしかった」と話します。たまの休日は友達と過ごすことが多い。婦警さんといってもそこは女性、仕事のこと、将来の夢などオシャベリに余念がありません。これから夏にかけて犯罪の多く発生する季節、全国でおよそ一千頭いる「首輪をはめた捜査官」に期待がよせられています。